

7. 河川空間の現状

7-1. 河川敷等の利用の現状

河川敷地の利用状況

平成12年度に実施した「石狩川水系河川空間利用実態調査」によれば、石狩川水系の年間河川空間利用者総数(推定)は、約3,130千人である。沿川市町村人口からみた年間平均利用回数は、約0.6回となっている。利用形態別では散策等が64%と最も多く、次いでスポーツが29%、両方で93%を占めている。水遊びは3%、釣りは4%となっている。

区分	項目	年間推計値(千人)		利用状況の割合	
		平成9年度	平成12年度	平成9年度	平成12年度
利用形態別	スポーツ	1,202	922		
	釣り	218	135		
	水遊び	228	83		
	散策等	2,800	1,990		
	合計	4,448	3,130		
利用場所別	水面	112	74		
	水際	334	144		
	高水敷	3,037	1,900		
	堤防	965	1,012		
	合計	4,448	3,130		

図7-1 石狩川の年間河川空間利用状況

高水敷の利用状況

河川敷の占用は、石狩川全体で4,169件、4,807haであり、占用目的で最も利用されているものは、田畑で全体の約35%となっており、次いで採草地在約32%、公園緑地在約27%となっている。

主要支川では、夕張川や空知川、雨竜川で高水敷の利用が多い。夕張川では、採草放牧地・田畑・公園緑地としての利用が主体となっており、空知川では田畑・公園緑地の利用が多い。雨竜川では田畑・採草放牧地としての利用が多くなっている。このほか、豊平川では、公園緑地としての利用率が高いものとなっている。

石狩川水系の各河川では様々な形で河川空間の利用が行われているが、特に札幌や旭川などの都市では河川の高水敷を公園として使用している例が多く、発達した市街地内に確保できないオープンスペースを河川空間に求めている現状がある。

公園緑地の利用内容は多岐にわたっているが、航空公園、せせらぎ公園、パークゴルフ場、テニスコートなどがあるほか、ゴルフ場の利用も各所で見られ、地方自治体などの管理の下、市民の憩いの場となっている。

7-2 . 河川の利用状況

上流

石狩川の最上流に位置する大雪ダムのダム湖(大雪湖)では釣り場として多くの人々に親しまれている。更に下流の層雲峡ではいくつもの滝と温泉で有名な観光地となっており、道内外からの観光客でにぎわっている。愛別町では、河川敷で緑地が整備されているほか、当麻町の区間では、河川敷にグラライダー飛行場が整備されている。旭川市の区間においては、河川緑地として、グラウンド、ゲートボール場、遊戯広場、リベライン旭川パークなどが整備されており、リベライン旭川パークでは、夏祭り(花火大会など)、冬祭りが開催されている。また、この区間では夏祭り時にイカダ下り大会が開催され、さわやかマラソン大会も行われている。神居古潭では、風光明媚な景観が景勝地として観光スポットとなっており、コタンまつりが開催されている。

忠別川においては、東神楽町や東川町において河川敷にパークゴルフ場が整備されているほか、旭川市においては、神楽岡公園に接し、大きく発達した川原が市民の川遊びの場として親しまれている。また、近傍の小中学校生徒によるサケ稚魚放流やニジマス釣りの祭典なども開催されている。

美瑛川においては、下流の河川敷の多くは公園整備され、サッカー場や野球場などが整備されている。



リベライン旭川パーク



旭川冬まつり



カナディアンカヌー(旭川市)



サケの稚魚放流の様子(石狩川：旭川市)



さわやかマラソン



コタン祭り



河原での水遊び風景(忠別川)



忠別川下流部パークゴルフ場

写真出典：北海道開発局

中流

石狩川の中流における河川利用については、深川市街地に隣接する河川敷では公園利用が図られており、野球場、グラウンドが整備され、花火大会などの祭りも開催されている。滝川市街地に隣接する河川敷には、石狩球場、たきかわスカイパーク、滝川市民ゴルフ場などが整備されており、また、堤頂を活用した自転車道が整備されているほか、桜つつみの整備も行われている。KP96付近の左岸には、川の科学館が整備されている。この区間では、例年、空知管内の石狩川を一泊二日でカヌーやイカダで下る石狩川下覧櫓川下りが開催されている

雨竜川では、沼田町において農村公園が隣接し、桜つつみとサイクリングロードが整備されているほか、北竜町では運動広場が整備されている。

空知川では、最上流部の金山ダムのダム湖（かなやま湖）がキャンプやカヌー、ワカサギ釣りなどのレクリエーションの場として活用されており、その下流の渓流区間ではカヌーが楽しまれており、スラローム大会も開催されている。富良野市では河川敷の多くが河川公園となっており、野球場、サッカー場が整備され、桜つつみも整備されている。空知川の中流に位置する滝里ダムのダム湖（滝里湖）周辺ではキャンプ場が整備されており、赤平市では公園利用やパークゴルフ場の整備などが行われているほか、芦別市と赤平市の間では川くだり大会も開催されている。滝川市においては、空知川緑地が整備され、サッカー場、テニスコート、野球場などがあり、花火大会、精霊流しなどのイベントが開催されている。



滝川スカイパーク



滝川サッカー場



滝川市川の科学館



石狩川下覧櫓川下り



かなやま湖畔キャンプ場



滝里湖オートキャンプ場

写真出典：北海道開発局

下流

石狩川の下流における河川利用については、空知川合流点下流においてゴルフ場が河川敷に整備されており、また、砂川市では、砂川遊水地においてヨット・カヌーなどが楽しまれている。美唄では河川敷で百万凧祭りが開催されている。月形町では、旧川を活用して公園整備が行われており、キャンプ、ヘラブナ釣りなどが楽しまれている。新篠津村では河川敷にグライダー飛行場が整備されているほか、旧川であるしのつ湖や河川敷を活用して公園やゴルフ場が整備されている。北村では、旧川である雁里沼においてコイ、ヘラブナ、ウグイ、ワカサギなどの釣りが楽しまれている。江別市では、夕張川合流点上流左岸河川敷においてゴルフ場が整備されているほか、新石狩大橋上流左岸河川敷に、野球場とサッカー場が整備されているとともに、リバーセーリングなどの水上スポーツが行われている。石狩市では、川の博物館が整備されているほか、旧川の茨戸川ではボートやワカサギ釣りが盛んである。また、石狩河口橋周辺（左岸）の河川敷は、野球場とグラウンドが整備されているほか、北海道により「すぐれた自然地域」に指定されているマクンベツ湿原があり、ハンノキ林とミズバショウ群落が発達し、カキツバタも自生しており、多数の観光客が訪れている。河口部にはハマナス群落のある砂丘植物群落があり、ハマナスの丘公園として親しまれており、花火大会が毎年開催されている。

幾春別川では、最上流の桂沢ダムのダム湖（桂沢湖）には、宿泊施設、公園、キャンプ場、テニスコートが整備されている。また、三笠市においては、カヌー大会やラフティング体験などが行われているほか、運動公園やパークゴルフ場、桜つつみなどが整備されており、NPOによるヤマベ放流や花火大会、灯籠流しなどのイベントも開催されている。岩見沢市においては、河川に隣接して、様々な公園整備がされているほか、サケ稚魚の放流、サケ遡上観察キャンプの開催、フラワーライン植栽、清掃など、愛護活動が盛んなものとなっている。

夕張川では、南幌町において河川敷が広く公園やパークゴルフ場に活用されており、リバーフェスティバルが開催されている

千歳川では、千歳市においてサケのふるさと館が河川に隣接して整備されており、河川を泳ぐサケの観察や稚魚放流などが行われている。

豊平川では、最上流部に豊平峡ダムが整備されており、渓谷の美しい景観とダムの放流が観光名所となっている。真駒内川合流点付近にはさけ科学館が整備されているとともに、札幌市内の高水敷のほとんどは、豊平川緑地として公園整備され、サッカー場、テニスコート、野球場、イベント広場、ウォーターガーデンなど多彩なレクリエーション空間として活用されているほか、マラソン大会、イカダ下り、花火大会などのイベントが多数開催され、市民が釣りを楽しむ姿も見られる。



砂川遊水池のヨット



月形町皆楽公園



石狩川河口域のハマナスの丘



茨戸川のレガッタ



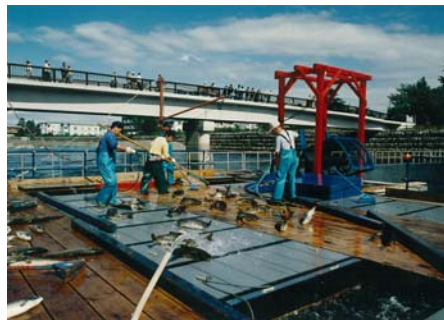
茨戸川のワカサギ釣り



桂沢湖周辺の公園



なんぼろりバーサイド公園



インディアン水車(千歳市)



豊平川花火大会



豊平川いかだくだけり



豊平川さわやかマラソン



豊平川川まつり



豊平川さけ科学館



豊平川ウォーターガーデン

写真出典：北海道開発局